

(社)日本原子力学会 標準委員会 基盤・応用技術専門部会
第7回 風洞実験実施基準分科会(P3SCPh2)議事録

1.日時 2009年9月4日(金) 11:00～12:30

2.場所 電力中央研究所 大手町本部 第4会議室
(大手町ビル7階)

3.出席者(順不同, 敬称略)

(出席委員) 井手(主査), 柿島(副主査), 沼田(幹事), 安達, 山澤, 舘野, 鈴木, 佐田,
永井_清, 永井_晴, 筑紫, 大場, 福田, 込山, 安田(15名)

(欠席委員) 北林(1名)

(常時参加者) なし

(傍聴者) 岡林

4.配布資料

P3SCPh2.7-1 第6回 風洞実験実施基準分科会議事録(案)

P3SCPh2.7-2 公衆審査におけるご意見と対応(案)

P3SCPh2.7-参考-1 基盤・応用技術専門部会における標準策定スケジュール

P3SCPh2.7-参考-2 標準委員会 基盤・応用技術専門部会 風洞実験実施基準分科会委員
一覧

5.議事録

(1)出席委員の確認

主査により 16 名の委員中、開始時点で 15 名の委員の出席があり、定足数(11 名以上)を満足していることが確認された。

(2)前回議事録の確認

沼田幹事より P3SCPh2.7-1 に基づき第 6 回風洞実験実施基準分科会議事録(案)が説明され、原案通り了承された。

(3) 公衆審査におけるご意見と対応について

公衆審査において、1 名より 5 件のコメントが出された。沼田幹事より各委員から事前に出された意見を反映した P3SCPh2.7-2 に基づき回答案が説明された後、検討が行われた。

以下のコメントを反映した回答案で専門部会等の了承をとることになった。

- 1) No.1 には中立以外の拡散評価について、現時点の限られた知見で行っているため、新たな知見が出てきたときに標準に反映することを追記する。
また、解説 5 の修正案は中立以外の再現できない件の説明文を簡略化する(気流調整のみで良いについては削除する)
- 2) No.2 の地形改変の説明で、模型製作にあたり、粗度の調整で十分な 10m 以下の構築物は再現していないことを追記する。
- 3) No.3 の排気筒高さは明確になるように(吹上げ高さ)を追記する。有効高さの調整は有効高さを求めるに修正する。
- 4) No.4 の乱流強度は中立時の野外高度 30m の乱流強度を再現しているの表現は、分かり難くなるため削除する。
- 5) No.5 は原案通りとした。

(4)その他・今後の予定

- ・回答案については、専門部会及び標準委員会に説明後、公開される。修正の都度各委員に送付することとした。

以上